

2017年度にうつ病など心の病気で休職した公立小中高校などの教員は前年度比186人増の5077人だったことが、文部科学省の調査で分かりました。精神疾患による休職者は全教員約92万人の0・55%に当ります。

心の病気による休職は07年度以降、5000人前後で推移しており、多忙でストレスを抱えていることが要因の一つとみられています。10年間では約5万人という数になります。教員の過密労働と部活動と指摘されています。

2018年を表す漢字に「災」が選ばれました。数々の自然災害が起り、国民に暗い思いを抱かせました。教育現場での「災」は何でしょうか?

子どもたちの問題行動を機械的に罰する“ゼロトランジス(寛容ゼロ)”と、行動をきめ細かく規定する“学校のスタンダード化”もその一つではないでしょうか。

学校が競争漬けでとても窮屈な場となり、子どもたちは他者を思いやる余裕を持つことが困難になつてきています。

2019年度は、「災」ではなく「幸」の年となるよう力を合わせて取り組みを強めていきましょう。



# 豊かな学び、心通う学校を!

## 撤回してくださいください

安心して働く職場に

豊橋市の中学校教員鈴木誠一郎先生は2014年12月1日、分限免職を言い渡されました。理由は、「心身の故障」すなわち病気だから辞めなさいといふものです。

### 原因は管理職のパワーハラ

12月17日の公開口頭審理を傍聴し、改めて労働者を守る組織の存在が大きいことを感ずるが校長や教育委員会の責任です。

## 心の病で年5000人超休職

### はじめに分限免職ありき

より良い授業を行うためには、きめ細かな教材研究や授業後のまとめが必要です。教授員に心の余裕があり、子ども達とのふれあいが十分確保できる条件整備が求められます。中教審答申が「教員の残業を月45時間」と指針を出し、業務量の削減と教員の労働時間の短縮化といった抜本的な対策が講じられています。精神疾患による休職は全員で休職に追い込まれる教員ではない。

## 病気でもないのに退職?

### 鈴木先生の分限免職を撤回してください

== 鈴木誠一郎先生の分限免職の撤回を求める会への支持・協力・参加を呼びかけます ==

切り取り紙

申込書

賛同していただける方は以下の用紙に記入し、会費を添えてお申し込みください。

#### 鈴木誠一郎先生の分限処分撤回を求める会

氏名	※氏名は、領収書類にも記入してください。	
住所	〒	
電話	( ) -	
職業		

会費 1口 1,000円

※HPに代理人、署名用紙があります。ご協力お願いします。

※2月19日午後3時からの公開口頭審理にご参加を!



#### 鈴木先生の分限免職撤回を求める会

写真 (左から 松永弁護士、鈴木さん、南さん)

12/17 KKRホテルにて

# アベ9条改憲NO！ 憲法9条を守ろう！

### 《瀬戸・教職員九条の会＆幡山9条の会》

第50回例会

日時:2019年1月27(日)14:00~

場所：さとの家 ホールA

## 《世界の平和・9条の役割》

DVD視聽

- ・アベ政治を許さない 南スー  
ダンの現実と9条改憲』
  - ・シリア内戦 イスラム国の正体  
を暴く

## 基調報告（加藤敏晴さん）

意見交換

世界情勢と9条に視点をおいて学習します。激動の東アジア情勢、中東・アフリカ・シリア等での内戦、ノーベル平和賞（“戦時性暴力撲滅の運動”等）、「自己責任論」・・・。資料を持ち寄り、充実した学習＆交流の場にしていきましょう。

【連絡先】荒木 庄平 sarakin@zm.commufa.jp

**跡地の問題**も重要です。学校は戦前から地域の子どもたちが学び育ち、地域のつながりの拠点となってきた場所であり、その果たしてきた役割の重要性を考えれば、一朝一夕に跡地利用をかけ、地域住民の納得

財政の硬直化を招きかねない事業は見直し、市の行うべき教育政策は公共施設の管理計画との抱き合わせでなく、一人ひとりに行き届いた教育、安心して通える環境つくりのためには、少人数学級や給食費の無償化を最優先すべきです。これらのことから本議案に反



スタダンの避難民

過労死ライン超の業務

繁忙期には、一日あたり最大で10時間の労働時間が認められる。7時まで通常業務として働く（残業扱いではない）。一方で、閑散期は午後3時に退勤で、実際の現場は常に繁忙期。教員増をすると、部活動を教育員の勤務から外す、無理な現実問題の介入を止め、現実問題の解決なしに、机上の計画を推し進めれば、現場はもつと疲弊する。

か長期休業中は閉散期?

須実つも考務教員授業なえし員にては業自月たてはるといが  
条件件だ。由とらいいが  
だ。育ない、るつな  
活研え夏。もい  
動修る休労とだ  
をの。み働同け  
行保が時じで  
う障教一間よあ  
上は員番だうつ  
でにまけにて  
必布ヒヒを勤

い観点からも絶対に認められ、  
ス<sup>（「仕事と生活の調和」）</sup>の過ぎ残業体は、勞死の原因となる。  
たる勤務も十 分予想される。午後9時過ぎ残業は、勞死の原因となる。

# 頸市議会の報

今やるべきは、業務量の大幅な削減や外部化であるいは教員の大増員が同時に必須であり、そこに実効性をもたらすための制度改革が不可欠である」と内田良名大准教授は指摘している。全く同感だ。

**員の大増幅** 今やるべきは、業務の削減・外部化と教

シリーズ3

地域において、いまだ合意に至らず、多くの住民の懸念するところとなる問題があります。